

科目名：保育原理 (選択2単位)		担当教員名：海老澤宣子 担 当 形 態：単独	使用テキスト：出版社名・テキスト わかば社：改訂版保育原理の基礎と演習（編著：柴崎正行）
科目	教育の基礎的理解に関する科目	施行規則に定める科目区分又は 事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
<p>授業の到達目標及びテーマ：</p> <p>○到達目標</p> <p>教育や保育の目的・基本を身につけ、保育の歴史等の相互の関係や変遷を理解する。また、保育の専門性と質の向上について理解をしながら、子どもの自発性や主体性の尊重等保育の内容や方法を身につける。教育課程、保育課程の役割の理解を深めるとともに指導計画（日案）の作成ができるようになる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>○基本的な学習内容（保育者として必ず押さえておきたい基礎・基本“幼児の理解や信頼関係、環境を通した保育”等の内容を学ぶ）</p> <p>○基本を深めた内容（子どもの自発性・主体性について学び、総合的な保育や保育の方法と内容を学ぶ）</p> <p>○発展的な学習内容（近年の動向や関連領域の知識などの内容を身につける）</p>			
回	項 目	内 容	
1	オリエンテーション及び保育の目的	・冒頭で授業の概要について説明を行う。また、保育原理で学ぶことを確認する。また、保育の対象としての子どもについて学習する。	
2	保育の目的	・子どもに関わるうえで保育者が大切にすること、また、それを行動につなげるためについて学習する。	
3	保育の歴史	・保育の歴史について、西洋と日本の変遷について知る。	
4	保育の基本（1）	・保育の意味を学びながら幼稚園、保育園、認定こども園の養護と保育について理解する。	
5	保育の基本（2）	・保育者に求められる専門性について理解を深める。	
6	保育の内容（1）	・乳幼児期の発達について各年齢の保育内容を理解する。	
7	保育の内容（2）	・乳児の3つの視点と5領域について学ぶ。	
8	保育の方法	・子どもの「自発性」「主体性」を尊重しながら、総合的な保育の仕方について理解を深める。また、環境を通した保育について知り、保育における計画を立て指導案の必要性を知る。	
9	指導案作成	・3歳児、4歳児、5歳児の指導案を作成する。	
10	模擬保育（1）	・実践してみることによって指導案が適切であったかを探り、ポイントについて学ぶ。	
11	模擬保育（2）	・実践してみることによって指導案が適切であったかを探り、ポイントについて学ぶ。	
12	保育における 様々な配慮	・健康及び安全についてまた、幼稚園、保育園、認定こども園における食育について学ぶ。	
13	保育の場における 子育て支援	・保育園・幼稚園・認定こども園等における2つの子育て支援について理解する。	
14	保育の専門性と 質の向上	・保育の質の向上と自己研鑽について、幼稚園・保育園・認定こども園等における研修について学ぶ。	

15	評価及び振り返りとまとめ	・保育実践の適切な評価のための観察方法や評価の仕方について学ぶ。また、保育原理について学びの振り返りや自己評価をする。
	期末試験	
<p>○参考書・参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領（文部科学省）、保育所保育指針（厚生労働省）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示—内閣府・文部科学省・厚生労働省） ・改訂版 保育原理の基礎と演習（わかば社） ・PriPri（世界文化社） ・幼児教育の原理（同文書院） ・必要に応じてプリント配布等 		
<p>○学生に対する評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加態度やレポート提出、発表及び試験などで総合的に評価する。 		